

平成30年4月1日採用

求められているのは
まなびのまちづくりです

緑豊かな住環境に、15万2千人余りが暮らす狭山市。次世代につながるまちづくりの中心を担うのは市民であり、支えるのが市の職員です。このまちで、市民の暮らしを支え、まちに活気を生み出し、狭山の未来を創っていく。そんな情熱と気概にあふれた人を求めています。
「我こそは」と思う方、ぜひ応募ください。

市民生活を守る市の職員

市では、安全安心で、健やかな市民生活に欠かせないサービスを提供しています。そこには、幅広い職種の職員が、直接または間接的に、市民皆さんの生活に関わっています。それぞれ業務は異なりますが、職員としての使命は同じです。それは、「市民の生活を守り、狭山の未来を創っていくこと」。一人ひとりの職員が、重要な役割を担っているという自覚と責任を持って日々の業務にあたっています。

促進、個性や創造性を伸ばす学校教育の推進、防災対策の推進など、多岐にわたります。

こうした業務に対応するため、現在、800人以上の職員が働いています。その職種は幅広く、一般事務職や技術職をはじめ、保育士、保健師、栄養士、精神保健福祉士、幼稚園教諭などの専門的な資格を有する職員もいます。その中で、一番多いのは一般事務職で、全職員の約6割を占める500人以上が働いています。

多岐にわたる市の業務
市の仕事は、環境の保全や子育て支援、健康福祉の増進、快適に暮らせる都市基盤の整備、活力ある産業の創出、さらに、生涯学習やスポーツ・レクリエーション活動の

また、多くの職員は、数年ごとの異動により、さまざまな分野の業務を経験することができま。こうして得た、幅広い知識と経験、そして人と人とのつながりが、広い分野で活躍できる職員に成長させてくれます。

申込み期間 **7月27日(木)~29日(土)**



保育士

子どもが笑顔になるための「安心」を届けたい

臨時職員として働いていた狭山市の保育所で、ベテランの先生の保育に感銘を受け、一緒に働きたいという思いが募り、保育士の採用試験を受けました。
現在、1歳児を担当しています。私の勤めている保育所には、新人からベテランまでたくさんの保育士がいます。悩んだり行き詰ったりしたときは、先輩に相談したり、仲間と協力したりしながら一つのチームとして保育をしています。狭山市の将来を担うさやまっ子の健やかな成長を守り、支えていくために頑張っています。

私からもひとこと

自分の知識を生かして、愛着のある狭山市をもっと住みよいまちにしたいと思い、市役所に入職しました。公共施設の改修工事などの設計と現場監理などを担当しています。限られた予算の中で、いかに使い勝手のよいものを創り上げられるかということに、やりがいを感じています。初めて工事を担当した小学校では、洋式に生まれ変わったトイレに子ども達が喜んでくれたことがうれしく、この仕事を選んでよかったと改めて実感しました。市民が日常的に利用する公共施設だからこそ、より使いやすくなるよう、日々勉強に励んでいます。

技術職



自ら考え、創り上げていくことにやりがいがあります

募集内容

職種・募集人数	受験資格
一般事務職 30名程度 (うち障害者 1名程度)	【大学卒】平成元年4月2日以降に生まれた方 【短大卒】平成6年4月2日以降に生まれた方 (専修学校卒を含む) 【高校卒】平成8年4月2日以降に生まれた方 【障害者】昭和59年4月2日以降に生まれ、次のすべてに該当する方 ・高校以上の学校を卒業 ・身体障害者手帳の交付を受けている
土木技術職 8名程度	いずれも土木関係の学部、学科を卒業 【大学卒】昭和57年4月2日以降に生まれた方 【短大卒】昭和62年4月2日以降に生まれた方 (専修学校卒を含む) 【高校卒】平成元年4月2日以降に生まれた方
建築技術職 2名程度	いずれも建築関係の学部、学科を卒業 【大学卒】昭和57年4月2日以降に生まれた方 【短大卒】昭和62年4月2日以降に生まれた方 (専修学校卒を含む) 【高校卒】平成元年4月2日以降に生まれた方
保健師 2名程度	昭和52年以降に生まれ、保健師の免許を有する方

職種・募集人数	受験資格
幼稚園教諭 1名程度	昭和53年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれ、幼稚園教諭の免許および保育士の資格を有する方
保育士 15名程度	昭和62年4月2日以降に生まれ、保育士の資格および幼稚園教諭の免許を有する方

※いずれの受験資格も、平成30年3月に卒業見込み及び免許・資格取得見込みを含みます
※受験資格などの詳細は、必ず募集案内でご確認ください

第1次試験 9月17日(日)

試験内容 適正検査、性格検査、教養試験(一般事務職のみ)、専門試験(土木技術職・建築技術職のみ)
※一般事務職、土木技術職、建築技術職は、上記に代えて、SPIの選択が可能

申込み 7月27日(木)~29日(土)の8時30分~17時15分に、申込書(職員課に用意。ホームページからもダウンロード可)を持って市役所6階605会議室(本人が持参。郵送不可)へ
※試験会場は別途通知します

問合せ職員課へ内線3514

Q 入職のきっかけは
A 友人に誘われ入会した大学のサークルで、ボランティア活動に参加したことがきっかけです。この活動で、手話が必要とする方が多いことを知り、誰かの役に立ちたいと思った。誰かの役に立ちたいという思いから、市民に身近な市役所で福祉の仕事に就きたいと、採用試験を受けました。

Q やりがいを感じる時は
A 現在、防災などの危機管理を担当しています。入職したときは、障害者福祉課に配属されました。市役所では、数年前に人事異動があり、さまざまな分野の仕事を経験することになりました。

Q 目指す職員像は
A 仕事に行き詰まったとき、「目に見えていることだけでなく、可能性を探るべき」と助言をしてくれた先輩がいます。その言葉に動かされ、視点を変えて行動し、課題を解決することができました。これからも、自分のやるべきことに線を引き、市民一人ひとりの思いに全力で向き合える職員になりたいです。



いろいろなことに挑戦し、得た経験を市のために生かしていきたい

白石 龍祐 危機管理課/主任 (平成20年度入職)